

令和元年度  
恵庭市教育委員会点検評価報告書



令和2年12月

恵庭市教育委員会



## 目 次

点検と評価の概要	3
点検評価の実施方法	4
令和元年度恵庭市教育委員会点検評価票	
1 教育総務課	
地域活動における「ふるさと教育」の推進	5
サマー・ウィンターセミナー事業	5
授業公開の推進	6
2 教育支援課	
「なかよしさわやかDAY全市交流会」の推進	7
スクールカウンセラー活用事業	7
3 学校給食センター	
食物アレルギー対応指針に基づく安全安心な学校給食の対応	8
4 社会教育課	
コミュニティ・スクール事業	9
青少年育成事業の推進	9
理科の体験学習の推進	10
通学合宿等の推進	10
郷土芸能の体験学習の推進	11
5 読書推進課	
ブックステーションの整備	12
小中学校における図書整備の充実	12
学校図書館活動の推進及び充実	13

6 郷土資料館	
地域の遺跡・施設等の教材化と活用	14
郷土資料館事業の充実	14
7 教育施設課	
学校教育施設の整備について①	15
学校教育施設の整備について②	15
地区会館等の整備について	16
令和元年度恵庭市教育委員会点検評価一覧	17

## 点検と評価の概要

### 1 経緯

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）が改正され、改正後の第26条第1項において、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（中略）の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」（参考1）と新たに規定されました。

### 2 目的

地教行法第26条の点検及び評価（以下「点検と評価」という。）は、教育委員会が自ら立てた基本方針に沿って、具体的な教育行政が執行されているかどうかについて点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより市民に対する説明責任を果たすとともに、効果的で市民に信頼される教育行政を推進することを目的としています。

### 3 点検と評価の対象

本年度の点検評価においては、令和元年度の教育行政執行方針及び第2次教育推進プログラム重点推進項目に係る主要な施策・事業の実施結果を対象として点検と評価を実施します。

### 4 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項（参考2）の規定による学識経験者の知見の活用については、教育委員会の事務の点検と評価の客観性を確保する観点から、教育委員会が行った点検と評価について、教育に関し学識経験を有する3名から意見等を聴取する機会を設けることにしました。

#### 意見提出者（3名；敬称略）

点検評価委員 高 桑 純（北海道文教大学人間科学部こども発達学科 教授）  
同 上 結 城 健 介（恵庭市社会教育委員）  
同 上 長 岡 秀 明（学校教育有識者）

#### ※参考条文

地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

（参考1）第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

（参考2）2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 点検評価の実施方法

- 1 本年度の点検評価においては、「令和元年度の教育行政執行方針」及び「第2次教育推進プログラム重点推進項目」に係る主要な施策・事業の実施結果を対象として点検と評価を行いました。  
また、各施策・事業の「教育推進プログラム」における位置づけも確認しながら評価を行いました。
- 2 事業の評価の判断基準  
必要性・効率性・有効性・公平性・優先性等の観点から、その達成度を総合的に判断して評価し4段階でランク付けを行いました。  
  
A：想定した以上に達成・想定した以上に順調に進捗  
B：想定どおり達成・概ね順調に進捗  
C：一定の成果があがっているが、一部については想定どおり達成できなかった進捗にやや遅れが見られる  
D：想定どおりには達成できなかった・想定したとおりには進捗していない

令和元年度恵庭市教育委員会点検評価報告書

<b>1</b> 継続		所管課 【 教育総務課 】	
事業名(施策)		自己評価	
地域活動における「ふるさと教育」の推進		<b>計画の達成状況</b>	
第5期総合計画での区分		各校の総合学習で、地域と協働して「ふるさと教育」を行うとともに、「ふるさと教育宅配事業」等、郷土資料館と連携した事業を実施した。また、郷土に関する調べ学習を行ったり、体験学習を紹介する壁新聞を作成したりした。さらには、児童生徒が「しままつ鳴子まつり」ですずらん踊りを披露したり、町内会の「もちつき大会」などに参加したりした。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	<b>課題及び今後の取り組み</b>	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育		
教育推進プログラム(施策の方向)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと教育を行う地域人材の確保</li> <li>・町内会・自治会や学校運営協議会との連携推進</li> </ul>	
地域との連携を図った「ふるさと教育」の推進			
事業(施策)概要・計画(目標)		<b>外部評価委員の意見</b>	
<p>地域に根ざし地域に開かれた学校づくりを推進し、地域と協働で活動に取り組むことにより、子どもたちのふるさとに対する理解を深め、ふるさとを愛する心を育成する。</p> <p>① ふるさと教育の全体計画を作成し、地域等と連携                  ② 地域人材を活用した教育活動の実践                  ③ 町内会等と連携し、地域に密着した取組の推進                  ④ 花のまちづくりなど地域の特色ある学習の推進</p>			
予算額(千円)	決算額(千円)	<p>各学校が行っている「ふるさと教育」が、着実に具体化され多くの学校で成果を上げていることは評価できます。今後、町内会・自治会や郷土資料館、学校運営協議会との連携と、人材確保が重要な課題となってくると思われま</p>	
0	0		
自己評価	外部評価	す。	
<b>B</b>	<b>B</b>		

<b>2</b> 継続		所管課 【 教育総務課 】	
事業名(施策)		自己評価	
サマー・ウィンターセミナー事業		<b>計画の達成状況</b>	
第5期総合計画での区分		令和元年度はサマーセミナー5講座、ウィンターセミナー5講座を開催した。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	特に、サマーセミナーでは「ヒューマン・コミュニケーション講座」を4コマ(2日)開催した。(平成30年度2コマ)	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	<b>課題及び今後の取り組み</b>	
教育推進プログラム(施策の方向)			
教師の資質能力の向上を図る研修活動の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員のニーズに合った内容や日程での実施</li> <li>・より多くの教員に受講してもらうための工夫</li> </ul>	
事業(施策)概要・計画(目標)		<p>今後もアンケート結果をもとに、恵庭市教育研究協議会と連携しながら企画運営を行い、継続して実施する。</p>	
<p>教員の資質向上を図ることを目的として、恵庭市教育研究協議会との共催により、夏季・冬季の休業期間に、特別支援教育やヒューマン・コミュニケーション、ふるさと教育、プログラミング教育、その他学校を取り巻く様々な課題に即した研修を実施する。</p>			
予算額(千円)	決算額(千円)	<b>外部評価委員の意見</b>	
530	509		
自己評価	外部評価	<p>新学習指導要領の教育観をふまえ教員の資質向上のために研修を実施していることは評価できます。今後とも、ニーズに合った充実したセミナーの実施をお願いします。</p>	
<b>B</b>	<b>A</b>		

令和元年度恵庭市教育委員会点検評価報告書

<b>3</b> 継続		3 所管課 【 教育総務課 】		
事業名(施策)		自己評価		
授業公開の推進		計画の達成状況		
第5期総合計画での区分		<p>各校で授業参観を公開で実施したほか、土曜日の教育活動(土曜授業)の全校実施、さらには学校運営協議会での活動を通して、学校経営について地域や保護者に理解や協力を得ながら、取組を推進した。</p> <p>また、授業公開に関する情報は、学校だよりやホームページにより効果的に発信した。</p>		
基本目標	4.人が育ち文化育むまち			
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育			
教育推進プログラム(施策の方向)				
地域や保護者への積極的な情報の発信		課題及び今後の取り組み		
事業(施策)概要・計画(目標)		<p>・講師となる地域人材の確保</p> <p>・学校運営協議会との連携推進</p> <p>・公開授業への参観者を増やす方策</p>		
<p>学校の教育活動を積極的に公開することにより、学校教育に関する一層の理解を図り、地域に開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>① 学校の教育活動への理解や関心を高めるよう積極的に授業公開を行う。</p> <p>② 授業公開にかかる情報を計画的・効果的に発信する。</p>				
予算額(千円)	決算額(千円)	<p>外部評価委員の意見</p> <p>市内全小中学校が年2回以上の土曜授業を行ったことから、教育委員会の指導はもとより、各学校の「授業改善」への積極性と謙虚な姿勢が評価できます。公開授業の参加者も順調に増えているようなので期待しています。今後は、どのように市民に知らせるのかの手続、方法について十分に検討していただきたいと思います。</p>		
0	0			
自己評価	外部評価			
<b>B</b>	<b>B</b>			



令和元年度恵庭市教育委員会点検評価報告書

4 継続		所管課 【 教育支援課 】	
事業名(施策)		自己評価	
「なかよしさわやかDAY全市交流会」の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		①7月16日実施、参加児童生徒56人。 ②交流会内容をフィードバックし、各学校にていじめを考 える機会を設けている。 ③当日のアンケート内容を含めた事業実施報告書をまとめ 各校に配布。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育		
教育推進プログラム(施策の方向)		課題及び今後の取り組み	
子どもの生活やいじめの実態把握と課題の早期解決		上記内容を今後も継続し行う。	
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見	
事業概要:各学校の児童会・生徒会代表が集い、いじ め問題について情報交換や意見交換を行い、いじめ 根絶に向けた取組の充実を図る 事業計画: ①いじめ問題の現状や課題、いじめ防止についての 意見交流を推進する。 ②全市交流会を踏まえた各学校によるいじめ防止活 動の推進 ③全市交流会での情報を組織還元し、各学校の取組 の充実を図る。		「全市交流会」が、いじめ防止運動の意識付けになっ ていくことが評価できます。交流内容を各校にフィードバック し、どのように深化させることができるかについて検討して ください。また、プライバシー等の個人情報に配慮しつつ、 SMS等の課題も含めて内容の充実にも努めていただきたい と思います。	
予算額(千円)	決算額(千円)		
62	62		
自己評価	外部評価		
B	B		

5 継続		所管課 【 教育支援課 】	
事業名(施策)		自己評価	
スクールカウンセラー活用事業		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		①相談件数、児童生徒151件、保護者352件、教職員477 件。 ②メンタルフレンドについては子どもとの関わりについて個 別ケース毎助言をし、教職員、保護者に対してはカウンセ リングという形で関わっており、校内研修を実施した学校も ある。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育		
教育推進プログラム(施策の方向)		課題及び今後の取り組み	
不登校・引きこもりの子どもたちへの学校復帰や適切な人間 関係を構築する力・豊かな社会性を育むことへの支援		引き続き、活動時間数を確保しつつ事業を継続していく。	
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見	
事業概要:児童生徒の臨床心理に関する専門 的な知識や経験を有するスクールカウンセラー を配置し、不登校・引きこもり等に関する教育相 談体制の充実や教職員等の資質向上を図る。 事業計画: ①各学校の児童生徒、教職員、保護者等への 相談活動 ②メンタルフレンド、教職員、保護者等に対する 研修会		児童生徒の相談はもとより、保護者や教職員の相談に 対応していることから、事業として十分に機能を果たして いると思います。児童生徒の心に寄り添う対応になるよ う、事業の一層の充実と、教職員の意識化のための研修 会の実施も検討していただきたいと思います。	
予算額(千円)	決算額(千円)		
5,256	4,703		
自己評価	外部評価		
B	B		

令和元年度恵庭市教育委員会点検評価報告書

<b>6</b> 継続		所管課 【 学校給食センター 】	
<b>事業名(施策)</b>		<b>自己評価</b>	
食物アレルギー対応指針に基づく安全安心な学校給食の対応		<b>計画の達成状況</b>	
<b>第5期総合計画での区分</b>		①衛生管理の徹底 朝昼2回職員の衛生検査と調理作業の点検確認を行った。	
<b>基本目標</b>	4.人が育ち文化育むまち	②地場産食材の活用 米飯は、恵庭産ななつぼし、パン・麺は道内産の小麦を使用。地場産野菜の年間使用量121,558kg(うち恵庭産6,047kg)、年間使用割合5%	
<b>目標</b>	08.夢と健康を育むまち	③食物アレルギー児童・生徒への対応 家庭・学校・センター連携のもと、綿密な確認に努めた。(アレルギー児童・生徒数259名、全児童・生徒数の4.5%)	
<b>教育推進プログラム(施策の方向)</b>		④放射能汚染へ対応 食材の選定は、放射性物質の検査結果や産地情報をもとに行い、その内容はホームページで公表した。	
安全安心な学校給食の充実と栄養教諭を中心とした食育の推進		<b>課題及び今後の取り組み</b>	
<b>事業(施策)概要・計画(目標)</b>		①老朽化した施設・設備及び厨房機器、食器等の改修・更新を、計画的に継続する必要がある。	
計画的な施設・設備、厨房機器の更新整備を行い衛生管理の徹底と職員の健康管理を図り、食中毒の発生や異物混入の未然防止に努め、新鮮で安全・安心な地場産食材の活用を進め、栄養バランスのとれた、よりおいしい給食の提供と食物アレルギー児童・生徒への対応食の充実を図るとともに放射能汚染に対し万全を期していきたい。		②地場産野菜については、市場価格を勘案しながら、使用の拡大に努めたい。	
《具体的目標》		③アレルギー対応については、保護者や学校現場の意見も取り入れながら、アレルギー対応について見直す必要がある、又、給食センターの建て替えと同時に除去食、代替食のアレルギー対応について検討する必要がある。	
①衛生管理の徹底		④食材の安全性を確認しながら使用に努めたい。	
②地場産食材の活用		<b>外部評価委員の意見</b>	
③食物アレルギー対応食の充実		衛生管理の徹底や地場産食材の活用はもとより、食物アレルギーや放射能汚染への対応など、望ましい取り組みを継続していると思います。今後とも食材の安全性を確認するとともに、アレルギー対応については、給食センターの建て替えを前提とした検討を続けていただきたいと思います。	
④放射能汚染対応等安全な食材の使用			
<b>予算額(千円)</b>	<b>決算額(千円)</b>		
298,370	290,297		
<b>自己評価</b>	<b>外部評価</b>		
<b>B</b>	<b>A</b>		

令和元年度恵庭市教育委員会点検評価報告書

7 継続		所管課 【 社会教育課 】	
事業名(施策)		自己評価	
コミュニティ・スクール事業		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		令和元年度	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	恵み野・島松で実施する恵庭版コミュニティスクールの年度計画に沿った支援及び、平成29年度から導入を開始している文科省型コミュニティ・スクール事業(学校運営協議会)において、令和元年度は恵庭小・松恵小・恵庭中学校区で導入された。また、恵み野・島松の恵庭版コミスクの関係者と令和3年度の設置に向けた実務者協議を行うなど、学校・家庭・地域の理解を深めることができた。	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	課題及び今後の取り組み	
教育推進プログラム(施策の方向)		コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の5カ年計画に基づいた計画的な実施に向けて、学校・家庭・地域の理解を進めること。社会教育課においては、特に恵庭版コミュニティスクールを実施している恵み野・島松小学校区に対し、学校運営協議会の導入にあたって施策の位置づけを整理し関係者をはじめ住民へ周知をすると共に理解を進めることが課題であり、両学校区共に恵庭版コミスクを経て文科省が推進している学校運営協議会がスムーズに設置することが出来るよう、関係者に対し丁寧に説明するなど慎重に対応していく。	
地域と学校が一体となった教育活動の推進		外部評価委員の意見	
事業(施策)概要・計画(目標)		コミュニティ・スクールへの対応について、着実に進められていることを評価します。これまでの取り組み状況による学校間の温度差を解消するため、全校実施に向けて市教委の十分なサポートや情報提供が必要であり、そのための施策の構築や各校との連携を密にすることが肝要と考えます。また、地域住民からのより幅広い協力を得るには更なる啓宣の努力が大切と思われます。	
[ねらい] 保護者や地域の方々が学校運営に参画することにより、学校・家庭・地域社会が一体となってより良い教育の実現に取り組み地域全体の活性化を目指す。			
[目標] 恵庭版コミュニティスクールの継続的な支援に加えて、文部科学省が推進するコミュニティ・スクール(学校運営協議会)をH29年度から全校区に5カ年計画で設置する。			
予算額(千円)	432	決算額(千円)	261
自己評価	B	外部評価	B

8 継続		所管課 【 社会教育課 】	
事業名(施策)		自己評価	
青少年育成事業の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		令和元年度	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	「青少年育成市民の会」加盟団体に対し、会の年度内事業の実施状況を報告するなど、会の活動に対する関心を深めることで、団体間の連携を深めることに努めた。	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	課題及び今後の取り組み	
教育推進プログラム(施策の方向)		各加盟団体の事業等情報の提供や、人材に関する情報収集などに関する検討・調整が必要。また、市民の会の主要な事業である国際交流派遣事業について、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により令和2年度は派遣を取り止めることとなった。	
地域や企業の青少年育成活動への啓発や支援		外部評価委員の意見	
事業(施策)概要・計画(目標)		国際交流派遣事業は、青少年育成事業の核となるものだけに、取り止めは極めて残念ですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止と青少年の健康を守る点からやむを得ない判断だと考えます。次年度に向け、各加盟団体の事業等の情報提供や人材に関する情報収集などに努め、計画が着実に推進されることを望みます。	
[ねらい] ふるさとに生きる子どもの育成をめざした地域づくりを進めるため、青少年育成関係団体と連携し、ふるさと教育を推進する。			
[目標] 青少年の健全育成に関わる団体で構成される「青少年育成市民の会」の、各加盟団体の事業・人材の情報等を共有し、団体間の連携を深め、効果的な事業の推進を図る。			
予算額(千円)	79	決算額(千円)	79
自己評価	B	外部評価	B

令和元年度恵庭市教育委員会点検評価報告書

9 継続		所管課 【 社会教育課 】	
事業名(施策)		自己評価	
理科の体験学習の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		令和元年度	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	子どもへの多様な体験活動の提供として実施している「恵庭子ども塾」のプログラム「おもしろ理科実験教室」について、令和元年度は春と冬の年2回に開催を増やし実施したところ、春の回は参加者が前年度50名を大きく上回る95名の参加があった。しかし冬の回は8名と想定よりも参加者が少ない結果となった。	
目 標	15.心豊かな思いやりをもった子どもの育成	課題及び今後の取り組み	
教育推進プログラム(施策の方向)		人気の高いプログラムであるが、今年度の実施結果により募集対象や実施時期により参加者にばらつきがあることが判明した。今後においては、子どもたちの興味・関心と参加対象とのマッチングや、学校行事等と重ならない日程など検討する。	
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見	
[ねらい] 子どもが気軽に参加できる理科の実験・観察を開催し、理科学習への興味・関心を高める。		子どもたちが興味・関心を持って参加しているとの声を聞くので、コロナウイルスの影響で実施できない状況にあることが残念です。千歳科学技術大学の講師は専門性が高く、大いに評価できます。新たな講師の発掘や、予算、開催場所、開催時期等を検討し、更なる取り組みの充実を期待します。	
[目標] 理科への興味・関心が高まるよう事業内容を工夫し、継続した実施に向けボランティア団体と調整を図る。		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; color: red; text-align: center;">                     (追記)新型コロナの影響により当該事業は実施できない状況にあることから、令和2年度の活動内容及び実績が激減する可能性がある。                 </div>	
予算額(千円)	決算額(千円)		
72	59		
自己評価	外部評価		
B	B		

10 継続		所管課 【 社会教育課 】	
事業名(施策)		自己評価	
通学合宿等の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		令和元年度	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	令和元年度は新たに和光小学校が実施し、6小学校区で地域住民がそれぞれ主体的に実施した。	
目 標	15.心豊かな思いやりをもった子どもの育成	課題及び今後の取り組み	
教育推進プログラム(施策の方向)		通学合宿支援者の高齢化に伴う世代交代をはかるため、保護者説明会で支援者への参加を呼びかけをはじめ、SNS等を活用した新たな周知、通学合宿への参加経験がある児童・父母が支援者となる流れの醸成をはかる。また令和2年度より予算額を倍増し、バス利用の際の助成額を増やすことで移動時の安全確保を図る。	
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見	
[ねらい] 子どもたちが共同で生活体験することにより、自立心・忍耐力・協調性や社会性を身につけ、子どもたちの生活力の向上を図る。地域住民で実行委員会を組織して運営を進めることにより「地域の子どもは地域で育てる」意識を醸成し、地域の教育力の向上を図る。		通学合宿が地区住民の手で実施され、良い方向に進んでいるように思います。この事業は、CSの基ともなることから、その意義についてSNSなどを活用した未実施地区への情報発信や行政側の適切な支援をお願いします。	
[目標] 通学合宿未実施地区への働きかけを行うとともに現実実施地区の継続的な運営を進めるための支援を行う。		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; color: red; text-align: center;">                     (追記)新型コロナの影響により当該事業は実施できない状況にあることから、令和2年度の活動内容及び実績が激減する可能性がある。                 </div>	
予算額(千円)	決算額(千円)		
120	70		
自己評価	外部評価		
B	B		



令和元年度恵庭市教育委員会点検評価報告書

<b>11</b> 継続		所管課 【 社会教育課 】	
事業名(施策)		自己評価	
郷土芸能の体験学習の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		令和元年度	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	すずらん踊り:小学校3校、中学校1校、6町内会、1自衛隊に派遣し技術指導を実施(参加者1,474人)	
目 標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術	恵庭岳太鼓:小学校1校に派遣したほか、随時体験可能な技術指導を週3日(計135回)実施	
教育推進プログラム(施策の方向)		課題及び今後の取り組み	
ふるさと文化の学びと継承・発展		すずらん踊りDVDの活用やプレゼンテーション機器による踊りの啓発を推進。各小学校区においても保存会児童メンバーによるポスターを掲示するなど郷土芸能に取り組むことを目指す。	
事業(施策)概要・計画(目標)		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; color: red;">                     (追記)新型コロナの影響により当該事業は実施できない状況にあることから、令和2年度の活動内容及び実績が激減する可能性がある。                 </div>	
「すずらん踊り」「恵庭岳太鼓」等郷土芸能の伝承発展に努め、ふるさとを愛する心を培うために、学校や地域に指導者を派遣し、郷土芸能を紹介するとともに総合的な学習の時間、学校行事等を活用した郷土芸能の体験学習を推進する。			
予算額(千円)	決算額(千円)	外部評価委員の意見	
266	266		
自己評価	外部評価		
<b>B</b>	<b>B</b>	すずらん踊りや恵庭岳太鼓の派遣は、ふるさとを愛する心を培う貴重な取り組みです。技術指導の実施など一定の成果を上げていることを評価します。コロナウィルスの影響などを配慮しながら、適切な時期に事業を実施していただきたいと思います。	

令和元年度恵庭市教育委員会点検評価報告書

<b>12</b> 継続		所管課 【 読書推進課 】										
事業名(施策)		自己評価										
ブックステーションの整備		<b>計画の達成状況</b>										
第5期総合計画での区分		黄金ふれあいセンター、生涯学習施設かしわのもりにブックステーションを設置し、円滑な図書貸出・返却を行った。										
基本目標	4人が育ち文化育むまち	・貸出状況										
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>黄金ふれあい</td> <td>かしわのもり</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>1,546名</td> <td>707名</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>2,361冊</td> <td>1,275冊</td> </tr> </table>			黄金ふれあい	かしわのもり	利用者数	1,546名	707名	貸出冊数	2,361冊	1,275冊
	黄金ふれあい	かしわのもり										
利用者数	1,546名	707名										
貸出冊数	2,361冊	1,275冊										
教育推進プログラム(施策の方向)		<b>課題及び今後の取り組み</b>										
学校や家庭での読書活動の推進		誰もがいつでもどこでも読書活動に親しむことができるように図書館から遠い地区等にブックステーションを設置しているが、今後の設置については市民要望などを踏まえながら検討する必要がある。										
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見										
◇事業概要 図書館サービスの一つとして、公共施設に図書館蔵書の予約・検索・予約図書の受取りができるシステムの配備及び配本・返却機能を有するブックステーションを設置し、市民サービスの充実を図る。 ◇目標 市全域を包括する図書館サービスネットワーク構築の推進を図り、きめ細かい図書館機能の提供を図る。		図書館ネットワークの推進が順調に行われ、十分な機能を発揮していると思います。貸出者数をはじめ、貸出冊数や予約冊数が一定の成果を出しており、PR等関係者の努力を評価します。高齢者が多くなることを踏まえ、市民要望にそったブックステーションの設置検討も妥当と考えます。										
予算額(千円)	281	決算額(千円)	281									
自己評価	<b>B</b>	外部評価	<b>A</b>									

<b>13</b> 継続		所管課 【 読書推進課 】													
事業名(施策)		自己評価													
小中学校における図書整備の充実		<b>計画の達成状況</b>													
第5期総合計画での区分		◇学校図書館蔵書数													
基本目標	4人が育ち文化育むまち	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>蔵書数</td> <td>児童生徒1人当り</td> <td>1校当り平均</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>80,630冊</td> <td>21.2冊/人</td> <td>10,079冊/校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>60,111冊</td> <td>31.6冊/人</td> <td>12,022冊/校</td> </tr> </table>			蔵書数	児童生徒1人当り	1校当り平均	小学校	80,630冊	21.2冊/人	10,079冊/校	中学校	60,111冊	31.6冊/人	12,022冊/校
	蔵書数	児童生徒1人当り	1校当り平均												
小学校	80,630冊	21.2冊/人	10,079冊/校												
中学校	60,111冊	31.6冊/人	12,022冊/校												
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	※学校図書館図書標準 全校100%達成													
教育推進プログラム(施策の方向)		<b>課題及び今後の取り組み</b>													
地域人材の効率的な情報発信の推進		◇課題 ・学校図書館の図書標準率100%の継続 ◇取組 ・学校図書の計画的な更新 ・授業等における学校図書館の効果的な活用の促進 ・調べ学習に対応できる図書の計画的な整備													
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見													
◇学校図書館の図書整備 文科省が定めた学校図書館に装備すべき蔵書数の基準となる図書標準の標準冊数が達成できるよう図書を整備する。 ・令和元年度予算(当初) 小学校 2,876千円 中学校 1,912千円  ※「子どもの読書活動を支える寄附」制度による追加予算額 小学校 1,360千円 中学校 420千円		恵庭市内の全小中学校で基準を達成していることは喜ばしいことです。また、「子どもの読書活動を支える寄附制度」による追加予算も評価できます。市民の読書に対する意識の高まりが寄附行為に結びつき、更に学校図書の整備につながることは望ましい状況と考えます。													
予算額(千円)	4,994	決算額(千円)	6,566												
自己評価	<b>A</b>	外部評価	<b>A</b>												

令和元年度恵庭市教育委員会点検評価報告書

14 継続		所管課 【 読書推進課 】			
事業名(施策)		自己評価			
学校図書館活動の推進及び充実		計画の達成状況			
第5期総合計画での区分		<ul style="list-style-type: none"> <li>・司書教諭等合同研修会、学校司書研修会 実施</li> <li>・公共図書館と学校間の図書の共有化と相互貸借の推進</li> </ul>			
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	貸出実績		図書館団体貸出	学校間貸出
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	小学校	中学校	貸出実績	13,620冊
教育推進プログラム(施策の方向)		一人当り貸出冊数	59.9冊/人	21.7冊/人	2,538冊
学校や家庭での読書活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる学習コンクールの実施～432作品・458名の応募</li> <li>・ボランティア交流会 開催</li> </ul>			
事業(施策)概要・計画(目標)		課題及び今後の取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇学校図書館の整備充実により児童・生徒の調べる学習活動の支援と読書活動の活性化の促進</li> <li>○学校図書館活動の充実</li> <li>・学校司書の配置・学校図書館配本システムの充実</li> <li>・教科学習及び調べ学習支援の充実</li> <li>・調べるコンクールの開催</li> <li>・司書教諭及び学校司書等研修会の実施</li> <li>○学校図書館情報ネットワークの構築</li> <li>・図書館情報及び図書資料の共有化の推進</li> <li>○図書ボランティアの育成支援</li> <li>・ボランティア研修会及び交流会の実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇課題</li> <li>・学校図書館を活用した教科学習支援</li> <li>◇取組</li> <li>・読書活動を推進する体制づくり(学校図書館指導計画の作成)</li> </ul>			
外部評価委員の意見		<p>学校図書館が、司書を中心に充実した運営がなされており、また、各学校での図書ボランティアの協力体制も十分構築されていることを高く評価します。コロナの影響で家庭で読書をして過ごす時間が増えたとのデータもありますが、残念なことに図書館が休館で役立てなくなってしまった課題も生じました。この教訓を次へ活かす工夫も考えておいていただきたいと思います。</p>			
予算額(千円)	決算額(千円)				
27,427	27,132				
自己評価	外部評価				
<b>B</b>	<b>B</b>				

令和元年度恵庭市教育委員会点検評価報告書

<b>15</b> 継続		所管課 【 郷土資料館 】	
事業名(施策)		自己評価	
地域の遺跡・施設等の教材化と活用		<b>計画の達成状況</b>	
第5期総合計画での区分		○史跡整備に向けて水文環境調査、境界標設置、排水溝改修工事を目標どおり実施した。 ○各種講座・講演会、まつり、展示などを開催し、啓発に努めた。 ○史跡の保護、整備の啓発を目的としたごみ拾いと花壇づくりを地域住民やボランティアと共に5月に実施。草刈は業者委託により6月と8月の2回実施。 ○基本計画は令和2年度に位置付けられていたが、財政的な問題から令和4年度に先送りとなった。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目 標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術		
教育推進プログラム(施策の方向)			
地域の遺跡・施設等の教材化と活用		<b>課題及び今後の取り組み</b>	
事業(施策)概要・計画(目標)		(課題) 財政収支計画等との整合性を図りながら、ガイダンス施設や公園等史跡整備の早期実現を図りたい。 (今後の取り組み) 史跡整備に必要な水文環境調査を引き続き行う。また、史跡の環境整備や各種啓発事業も継続実施する。	
(目標) 史跡カリンバ遺跡を市民共有の財産として有効に活用を図りつつ良好な状態で後世に継承するため、H28年3月に「史跡カリンバ遺跡整備基本計画」を策定した。事業の進め方は、ガイダンス施設と環境整備を優先し、基本計画、実施設計そして各種整備を進める方針として第5期総合計画に位置付けをした。			
(事業)○史跡カリンバ遺跡水文環境調査 ○史跡カリンバ遺跡境界標設置 ○史跡カリンバ遺跡排水溝改修工事 ○史跡カリンバ遺跡各種啓発事業実施 ○史跡カリンバ遺跡環境整備		<b>外部評価委員の意見</b>	
予算額(千円)	決算額(千円)	カリンバ遺跡の整備計画は財政的な絡みで先送りされましたが、教材化の取り組みは可能な範囲で取り組まれており評価できます。また各種レベルで市内の遺跡の紹介や啓発の取り組みは、次第に市民に浸透していくものと考えます。新施設や公園等遺跡整備が計画的にかつ早期に実現することを期待します。	
5,186	4,302		
自己評価	外部評価		
<b>C</b>	<b>B</b>		

<b>16</b> 継続		所管課 【 郷土資料館 】	
事業名(施策)		自己評価	
郷土資料館事業の充実		<b>計画の達成状況</b>	
第5期総合計画での区分		○展示事業:企画展「物語の中の民具」等7件 ○教育普及事業:【体験学習】「土笛づくり」等8件 参加者766人 【観察会】「星空観察会」等2件参加者76人 ○ふるさと教育宅配事業:市内8小学校に対し国語の教科書に登場する民俗資料32点を4つに分けて巡回貸出し ○資料保存事業:8ミリフィルムのデジタル化 令和元年度入館者数:6,740人	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目 標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術		
教育推進プログラム(施策の方向)			
遺跡・施設等を活用した学習の推進		<b>課題及び今後の取り組み</b>	
事業(施策)概要・計画(目標)		(課題) 収蔵資料の活用と入館者数増加に繋がる対策 学校教育との連携 (今後の取り組み) ・収蔵資料の保存管理と普及事業への有効活用 ・ボランティア団体との協力と共催事業の精査 ・学校との連携強化	
(目標)郷土の歴史等に関する資料を収集・保管・展示公開し、より多くの市民に郷土「恵庭」に対する関心を深めていただくことに貢献する。 (事業) ○展示事業 ○体験学習・観察会等の教育普及事業 ○ふるさと教育宅配事業 ○資料保存事業		<b>外部評価委員の意見</b>	
予算額(千円)	決算額(千円)	ふるさと教育の推進のため、展示事業や体験学習等の行事を行っていることは、大いに評価できます。今後とも、学校との連携を強めるとともに、保存資料のデジタル化が将来に繋がる活動として計画的に実施されることを期待します。	
526	369		
自己評価	外部評価		
<b>B</b>	<b>B</b>		



令和元年度恵庭市教育委員会点検評価報告書

17 継続		所管課 【 教育施設課 】	
事業名(施策)		自己評価	
学校教育施設の整備について①		<b>計画の達成状況</b>	
第5期総合計画での区分		今年度は恵庭小長寿命化改修の工事(北校舎)と実施設計(南校舎)、恵み野中トイレ改修工事(2期)、恵み野旭小屋上防水改修工事を行った。工事施工にあたっては事故もなく計画通り完成に至った。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育		
教育推進プログラム(施策の方向)		<b>課題及び今後の取り組み</b>	
事業(施策)概要・計画(目標)		今後も現状の劣化状況を事前に確認し緊急性の高い屋上防水改修やトイレ改修等を計画的に実施する。また各学校の長寿命化計画の策定に伴い大規模な改修工事を計画的に進めて参ります。	
【令和元年度工事・設計】 ・恵庭小長寿命化改修工事(北校舎) ・恵庭小長寿命化改修工事実施設計(南校舎) ・恵み野中トイレ改修工事(2期) ・恵み野旭小屋上防水改修工事		<b>外部評価委員の意見</b>	
		長寿命化工事が計画的に実施されていることは大いに評価できます。今後、子どもが学校生活を過ごす上での緊急度等を考慮し、屋上やトイレの改修工事が計画的に実施されることを期待します。	
予算額(千円)	決算額(千円)		
278,433	259,194		
自己評価	外部評価		
B	B		

18 継続		所管課 【 教育施設課 】	
事業名(施策)		自己評価	
学校教育施設の整備について②		<b>計画の達成状況</b>	
第5期総合計画での区分		今年度の防音機能復旧における工事の実績は、2か年事業(令和元・2年度)の柏陽中(校舎・講堂)のみとなっている。実施設計は和光小(東校舎)、恵北中(増築校舎・講堂)、柏陽中(校舎・講堂)を行っている。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	またアスベスト含有断熱材が含まれる恵み野旭小、恵み野中の校舎・講堂の煙突に対して撤去・更新工事を行った。	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育		
教育推進プログラム(施策の方向)		<b>課題及び今後の取り組み</b>	
事業(施策)概要・計画(目標)		学校運営への影響を未然に防ぐために、老朽化している暖房用ボイラーを計画的に更新していく。	
設置後20年程度経過し老朽化している暖房用ボイラーを計画的に更新し故障による学校運営への影響を未然に防止する。		またアスベスト含有断熱材が含まれている煙突に対してはボイラー更新に併せて撤去更新を進める。ボイラー更新が直近でない場合においても計画的に煙突断熱材の撤去・更新工事を行っていく。	
【令和元年度工事・設計】 ・和光小(東校舎)防音機能復旧実施設計 ・恵北中(増築校舎・講堂)防音機能復旧実施設計 ・柏陽中(校舎・講堂)防音機能復旧実施設計・工事 ・恵み野旭小(校舎・講堂)煙突石綿対策実施設計 ・恵み野中(校舎・講堂)煙突石綿対策実施設計		<b>外部評価委員の意見</b>	
		柏陽中の防音機能復旧工事が計画通り進められたことを評価します。今後、老朽化している暖房用ボイラーの更新を計画的に進めるよう期待します。アスベストの問題は、保護者をはじめ社会的関心事であることから、緊急度も視野に計画的な取り組みを望みます。	
予算額(千円)	決算額(千円)		
40,075	39,137		
自己評価	外部評価		
B	B		

令和元年度恵庭市教育委員会点検評価報告書

<b>19</b> 継続		所管課 【 教育施設課 】	
事業名(施策)		自己評価	
地区会館等の整備について		<b>計画の達成状況</b>	
第5期総合計画での区分		今年度は寿町会館のボイラー更新工事を行い、また併せてアスベスト含有断熱材が含まれる煙突に対して撤去・更新を行った。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目 標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術		
教育推進プログラム(施策の方向)		<b>課題及び今後の取り組み</b>	
事業(施策)概要・計画(目標)		施設運営への影響を未然に防止するために、老朽化している暖房用ボイラーに対して計画的に更新を行っている。 また、アスベスト含有断熱材が含まれている煙突に関してはボイラー更新時に計画的に撤去・更新工事を行う。	
設置後20年程度経過し老朽化している暖房用ボイラーを計画的に更新し、故障による施設運営への影響を未然に防止する。			
【令和元年度工事】 ・寿町会館防音機能復旧工事		<b>外部評価委員の意見</b>	
		寿町会館のボイラー更新と煙突のアスベストの撤去を計画通り行ったことを評価します。地区会館は市民の芸術文化活動のベースとなる施設でもある事から、緊急性などふまえて計画的な整備を推進していただきたいと思います。	
予算額(千円)	決算額(千円)		
41,542	37,150		
自己評価	外部評価		
<b>B</b>	<b>B</b>		

## 令和2年度(令和元年度事業)恵庭市教育委員会点検評価一覧

課	番号	新・継	事業名	自己評価	外部評価
教育総務課	1	継	地域活動における「ふるさと教育」の推進	B	B
	2	継	サマー・ウィンターセミナー事業	B	A
	3	継	授業公開の推進	B	B
教育支援課	4	継	「なかよしさわやかDAY全市交流会」の推進	B	B
	5	継	スクールカウンセラー活用事業	B	B
学校給食センター	6	継	食物アレルギー対応指針に基づく安全安心な学校給食の対応	B	A
社会教育課	7	継	コミュニティ・スクール事業	B	B
	8	継	青少年育成事業の推進	B	B
	9	継	理科の体験学習の推進	B	B
	10	継	通学合宿等の推進	B	B
	11	継	郷土芸能の体験学習の推進	B	B
読書推進課	12	継	ブックステーションの整備	B	A
	13	継	小中学校における図書整備の充実	A	A
	14	継	学校図書館活動の推進及び充実	B	B
郷土資料館	15	継	地域の遺跡・施設等の教材化と活用	C	B
	16	継	郷土資料館事業の充実	B	B
教育施設課	17	継	学校教育施設の整備について①	B	B
	18	継	学校教育施設の整備について②	B	B
	19	継	地区会館等の整備について	B	B